

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【公表番号】特表2015-533656(P2015-533656A)

【公表日】平成27年11月26日(2015.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2015-074

【出願番号】特願2015-538335(P2015-538335)

【国際特許分類】

B 3 0 B	1/10	(2006.01)
F 1 6 H	21/18	(2006.01)
F 1 6 H	21/44	(2006.01)
B 3 0 B	1/14	(2006.01)
B 3 0 B	1/16	(2006.01)

【F I】

B 3 0 B	1/10	Z
F 1 6 H	21/18	
F 1 6 H	21/44	F
F 1 6 H	21/44	J
F 1 6 H	21/44	Z
B 3 0 B	1/14	
B 3 0 B	1/16	

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月14日(2016.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動力(30)又は駆動モーメントを提供する少なくとも1つの駆動ユニット(14)と、

入力部材(20)及び並進的に可動な出力部材(22)を有した被駆動ユニット(16)であって、前記入力部材(20)と前記出力部材(22)との間に累進的な力・行程特性線を有している被駆動ユニット(16)と、

支点(26)で回転可能に支持されている伝達エレメント(18)と、を有しており、該伝達エレメント(18)は、該伝達エレメント(18)にトルク(38)を伝達可能であるように前記駆動ユニット(14)に接続されており、かつ入力枢着点(30)と出力枢着点(28)とを有していて、該出力枢着点(28)には、前記伝達エレメント(18)と共にトグルレバー(42)を形成する接続エレメント(34)が枢着されており、該接続エレメント(34)は前記被駆動ユニット(16)の前記入力部材(20)に、力を前記被駆動ユニット(16)に伝達可能であるように接続されていて、前記出力部材(22)の前記力・行程特性線を設定するために、前記出力部材(22)の出発位置に関連して前記トグルレバー(42)の角度(44)が変更可能である、駆動装置(10)、特に変形加工装置を駆動する駆動装置(10)であって、

前記伝達エレメント(18)は、前記支点(26)を中心として回転可能に支持されている2つの別個の伝達部材(70, 72)を有しており、前記入力枢着点(30)と前記出力枢着点(28)とはそれぞれ、前記両伝達部材(70, 72)のうちの一方に形成さ

れており、前記両伝達部材（70，72）は様々な回転角度において互いに回動不能に結合可能であることを特徴とする、駆動装置、特に変形加工装置を駆動する駆動装置。

【請求項2】

1つのスライド（24）と、該スライド（24）を駆動するための、請求項1記載の少なくとも1つの駆動装置（10）とを備えた、変形加工装置（12）用のプレスモジュール。

【請求項3】

請求項2記載の複数のプレスモジュールを備えた、ワークを加工するためのモジュール式のプレスシステム。